

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-23	高等学校	地理歴史科	日本史B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	日B310	新選日本史B		

1. 編修の基本方針

- (1) 諸資料の活用を通して、日本史の基礎的知識を定着させるとともに、ゆとりを持って学習できる教科書
- 本文記述では、内容の精選や平易な表現での叙述に努め、各時代の特色や歴史の変遷を、ゆとりを持って学ぶことができるように心がけた。
 - ポイントをおさえた図表や年表を効果的に用いた。写真は紙面を有効に利用して意義のあるものを掲載し、端的でわかりやすい説明を付した。
 - 各章の扉ページにおいて、当該の章で学習する時代の概観を提示することで、問題意識を持って学習に取り組めるようにした。また、各章末の「章を広げる」ページで、学習した内容の概観的な確認をするための学習活動ができるようにした。
- (2) 歴史的事象に関する興味・関心を喚起し、それらを考察・表現するための技能を培う教科書
- 45のコラムや13のテーマ学習「歴史を探究」において、さまざまな歴史の見方を紹介することで、生徒の興味・関心を喚起し、多面的・多角的に歴史を考察する視点を身につけられるようにした。
 - 巻頭の「歴史と資料 江戸図屏風」では、科目の導入として歴史学習に対する興味・関心を喚起するとともに、さまざまな歴史資料の活用やそれらの保存・継承についての認識を持てるようにした。また、このページを含む各所に設けた「やってみよう」によって、紙面を参考に生徒が主体的な学習活動(アクティブ・ラーニング)に取り組めるように配慮した。
 - 各章の扉ページでは、各時代の人々の暮らしの様子を読み取らせるための資料写真を提示し、生活者の視点における時代の変遷を感じさせるとともに、さまざまな資料から歴史を考察できる例を示した。
- (3) 歴史学習を通して、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う教科書
- 「歴史と資料」「歴史の解釈」「歴史の説明」「歴史の論述」などの学習活動を通して、歴史を考察するための技能および思考力・判断力・表現力を段階的に習得するとともに、自らの考えを広く発信する力を養い、これらが今後の社会生活のさまざまな場面で活用されることをめざした。
 - 各章末の「世界を見ていた日本人」や巻末の「歴史に学ぶ」では、先人に対する敬意や我が国および他国の歴史・文化を尊重する態度を育てるとともに、歴史的な事象からさまざまな教訓を得ることで、国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことをめざした。
 - 本文の最終部においては、現代のさまざまな社会的課題を取り上げることで、生徒が歴史の当事者としての自覚を持ち、今後の社会形成に主体的に取り組むための意識を喚起できるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
歴史と資料 江戸図屏風	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)	前見返し、口絵、5～54 ページ
第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生	章の扉ページにおいて、当該の章で学習する時代の概観を示すとともに、章末では学習を振り返る「章を広げる」を設け、学習内容の深化と定着を図った。(第1号)	5, 52～53 ページ
1 原始社会の生活と文化		
2 農耕社会の形成と大陸文化の摂取		
3 律令国家の形成と古代文化の展開		
4 摂関政治と文化の和様化		

	自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を随所に提示した。(第2号)	10, 21, 52～53ページなど
	各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、生徒の勤労観を育むようにした。(第2号)	口絵, 5, 9, 11, 13, 21, 28～29, 38～39, 46ページなど
	国際的視野を持ってさまざまな事績を残した人物を取り上げた「世界を見ていた日本人」のページなど、国家の形成や社会の発展に向けて進められたさまざまな事象を丁寧に記述し、今後の社会形成に主体的に参画する意識を涵養するようにした。(第3号)	22～23, 26～29, 32～35, 40～41, 54ページなど
	我が国が太古から豊かな自然に恵まれ、先人が自然条件に適応しながら社会生活を営んできたことについて記述し、こうした環境をこれからも保全していこうとする態度を養うようにした。(第4号)	6～11, 38～39ページなど
	各時代の文化のページを中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例を取り上げるなどして、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し保存・継承に努めていく態度を養うようにした。(第5号)	24～25, 30～31, 36～37, 42～43, 50～51ページなど
	先人がさまざまな困難を克服して現在に至る社会を築き上げたことや、海外との交流の中でさまざまな文物を取り入れつつ独自の文化を形成してきた点などにふれ、我が国の伝統や文化に愛着を持つとともに、他国の歴史や文化についてもこれを理解・尊重し、今後の国際社会で果たすべき役割を考えられるようにした。(第5号)	22～27, 35～37, 48～51, 54ページなど
第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1 中世社会の成立 歴史の解釈 武士と戦い 2 武家社会の形成と東アジア	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)	55～102ページ
	章の扉ページにおいて、当該の章で学習する時代の概観を示すとともに、章末では学習を振り返る「章を広げる」を設け、学習内容の深化と定着を図った。(第1号)	55, 100～101ページ
	自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を随所に提示した。(第2号)	64～65, 69, 93, 100～101ページなど
	各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、生徒の勤労観を育むようにした。(第2号)	55～56, 69, 76, 79, 81, 86～89, 94～95, 99ページなど
	国際的視野を持ってさまざまな事績を残した人物を取り上げた「世界を見ていた日本人」のページなど、新しい社会の形成や諸産業の発展に向けて進められたさまざまな事象を丁寧に記述し、今後の社会形成に主体的に参画する意識を涵養するようにした。(第3号)	62～63, 67～69, 76, 82～85, 88～89, 102ページなど

	先人が自然条件に適応しながら社会生活を営んできたことについて記述し、こうした環境をこれからも保全していこうとする態度を養うようにした。(第4号)	76, 86～89, 94～95ページなど
	各時代の文化のページを中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例を取り上げるなどして、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し保存・継承に努めていく態度を養うようにした。(第5号)	58～59, 78～81, 96～99ページなど
	先人がさまざまな困難を克服して現在に至る社会を築き上げたことや、海外との交流の中でさまざまな文物を取り入れつつ独自の文化を形成してきた点などにふれ、我が国の伝統や文化に愛着を持つとともに、他国の歴史や文化についてもこれを理解・尊重し、今後の国際社会で果たすべき役割を考えられるようにした。(第5号)	63, 78～79, 81, 86～87, 102ページなど
第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)	103～158ページ
1 ヨーロッパ文化との接触と国内統一		
2 幕藩体制の成立		
3 近世社会の発達と町人文化		
4 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達		
歴史の説明 江戸幕府は「鎖国」をしていたか	章の扉ページにおいて、当該の章で学習する時代の概観を示すとともに、章末では学習を振り返る「章を広げる」を設け、学習内容の深化と定着を図った。(第1号)	103, 156～157ページ
	自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を随所に提示した。(第2号)	111, 139, 143, 148～149, 156～157ページなど
	各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、生徒の勤労観を育むようにした。(第2号)	103, 108, 117～123, 126～127, 130～135, 145ページなど
	国際的視野を持ってさまざまな事績を残した人物を取り上げた「世界を見ていた日本人」のページなど、新しい社会の形成や諸産業の発展に向けて進められたさまざまな事象を丁寧に記述し、今後の社会形成に主体的に参画する意識を涵養するようにした。(第3号)	112～115, 130～135, 140～143, 158ページなど
	先人が自然条件に適応しながら社会生活を営んできたことについて記述し、こうした環境をこれからも保全していこうとする態度を養うようにした。(第4号)	120～121, 133～135ページなど
	各時代の文化のページを中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例を取り上げるなどして、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し保存・継承に努めていく態度を養うようにした。(第5号)	110～111, 116, 136～139, 150～155ページなど

	先人がさまざまな困難を克服して現在に至る社会を築き上げたことや、海外との交流の中でさまざまな文物を取り入れつつ独自の文化を形成してきた点などにふれ、我が国の伝統や文化に愛着を持つとともに、他国の歴史や文化についてもこれを理解・尊重し、今後の国際社会で果たすべき役割を考えられるようにした。(第5号)	104～105, 110～111, 123～127, 144～147, 158ページなど
第4章 近代国家の形成と国民文化の発展	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)	159～236ページ
1 開国から明治維新へ	章の扉ページにおいて、当該の章で学習する時代の概観を示すとともに、章末では学習を振り返る「章を広げる」を設け、学習内容の深化と定着を図った。(第1号)	159, 234～235ページ
2 立憲政治の形成と国民文化	自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を随所に提示した。(第2号)	163, 188, 197, 215, 221, 234～235ページ
3 日本の近代化と東アジア	各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、生徒の勤労観を育むようにした。(第2号)	159, 170～175, 183, 198～201, 210～215ページなど
4 デモクラシーと第一次世界大戦	国際的視野を持ってさまざまな実績を残した人物を取り上げた「世界を見ていた日本人」のページなど、新しい社会の形成や国民生活の向上をめざして進められたさまざまな事象についてわかりやすく記述し、今後の社会形成に主体的に参画する意識を涵養するようにした。(第3号)	168～171, 180, 184, 200, 210～211, 236ページなど
5 激動する世界と日本	歴史のなかでの環境保全や公害問題についての記述を充実させ、環境を保全することの重要性を認識できるようにした。(第4号)	200ページなど
	各時代の文化のページを中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例を取り上げるなどして、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し保存・継承に努めていく態度を養うようにした。(第5号)	190～191, 202～203, 212～215ページなど
	先人がさまざまな困難を克服して現在に至る社会を築き上げたことや、海外との交流の中でさまざまな文物を取り入れつつ独自の文化を形成してきた点などにふれ、我が国の伝統や文化に愛着を持つとともに、他国の歴史や文化についてもこれを理解・尊重し、今後の国際社会で果たすべき役割を考えられるようにした。(第5号)	160～163, 172～175, 178～179, 190～191, 202～203, 212～215ページなど
第5章 現代の世界と日本	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)	237～288ページ
1 占領と国内改革	章の扉ページにおいて、当該の章で学習する時代の概観を示すとともに、章末では学習を振り返る「章を広げる」を設け、学習内容の深化と定着を図った。(第1号)	237, 276～277ページ
2 国際社会への復帰と高度経済成長		
3 石油ショックと低成長の時代		
4 新しい国際秩序と日本の課題		
歴史の論述 道から探る地域の歴史		
歴史に学ぶ 1 大震災と日本人		

<p>2 世界のなかの一員として</p> <p>3 歴史遺産の継承</p>	<p>自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を随所に提示した。(第2号)</p>	<p>247, 259, 266, 274, 276 ~ 281 ページ</p>
	<p>各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、生徒の勤労観を育むようにした。(第2号)</p>	<p>237, 239 ~ 243, 254 ~ 259, 263 ~ 266 ページなど</p>
	<p>国際的視野を持ってさまざまな事績を残した人物を取り上げた「世界を見ていた日本人」のページなど、新しい社会の形成や国民生活の向上をめざして進められたさまざまな事象についてわかりやすく記述し、今後の社会形成に主体的に参画する意識を涵養するようにした。(第3号)</p>	<p>270 ~ 275, 282 ~ 287 ページなど</p>
	<p>歴史のなかでの環境保全や公害問題についての記述を充実させ、環境を保全することの重要性を認識できるようにした。(第4号)</p>	<p>258 ページなど</p>
	<p>各時代の文化のページを中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例を取り上げるなどして、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し保存・継承に努めていく態度を養うようにした。(第5号)</p>	<p>247, 286 ~ 288 ページなど</p>
<p>先人がさまざまな困難を克服して現在に至る社会を築き上げたことや、海外との交流の中でさまざまな文物を取り入れつつ独自の文化を形成してきた点などにふれ、我が国の伝統や文化に愛着を持つとともに、他国の歴史や文化についてもこれを理解・尊重し、今後の国際社会で果たすべき役割を考えられるようにした。(第5号)</p>	<p>238 ~ 243, 254 ~ 259, 282 ~ 287 ページなど</p>	

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- コラムやテーマ学習「歴史を探る」を各所に設けるとともに、写真・地図・図表を豊富かつ大きく見やすく掲載することなどで、生徒が主体的・意欲的に学習に取り組めるよう、楽しく学べる教科書をめざした。
- 地図やグラフなどではカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず学習をすすめられるよう留意した。
- 再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-23	高等学校	地理歴史科	日本史B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	日B310	新選日本史B		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

◎総則における「教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項」、「教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項」に示された内容に関して、以下の点に配慮した。

1. 言語活動の充実

- ①科目の導入「歴史と資料」、「歴史の解釈」、「歴史の説明」、科目のまとめ「歴史の論述」では、自分の考えを文章でまとめて表現したり、意見を交換したりする活動を提示し、言語能力の育成を図った。
- ②章末に配した「章を広げる」では、当該の章で学習した内容を自分の言葉で表現したり、地図や統計資料から考察したりするなどの言語活動に関する問いを設けた。

2. 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視

- ①各章扉ページに各時代の人々の姿を示す資料を提示するとともに、当該の章で学習する時代を概観する記述を設けることで、これからどのようなことを学んでいくかについて大まかな見通しが立てられるようにした。
- ②章末の「章を広げる」ページで、学習した内容を振り返り、理解を深め、知識が定着するようにした。

3. 障害のある生徒の指導

色覚特性のある生徒にも判別しやすいように、配色に配慮した。

◎地理歴史科(日本史B)の目標に関して、以下の点に配慮した。

4. 諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けた総合的な考察

- ①各時代のアジアや世界の状況を示す地図や記述を各所に提示し、地理的条件や世界の歴史と関連付けて学習が展開できるように配慮した。
- ②巻末年表では、世界史の内容についても詳述し、同時代に世界でどのようなできごとが起きたかについて認識できるようにした。

5. 我が国の伝統と文化についての認識の深化、歴史的思考力の育成

- ①さまざまな視点のコラムや特設ページを設け、我が国の伝統と文化についての認識を深めるとともに、歴史を多面的・多角的に思考・判断・表現する力を養成し、国際社会を主体的に生き抜くための歴史認識の育成を図った。
- ②主題を設定し、資料・情報を収集し、考察し表現する活動を随所に盛り込み、歴史学習の基本的な技能の修得を図るとともに、生徒が主体的な学習活動(アクティブ・ラーニング)に取り組めるように配慮した。
- ③各時代の文化について記述したページや巻末「歴史に学ぶ 歴史遺産の継承」を中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例などを数多く提示し、これらについての興味・関心を喚起するとともに、次代に保存・継承していく意識を涵養できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
歴史と資料 江戸図屏風	内容(1)-ア	前見返し、口絵	3

第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生		5～54ページ	25
1 原始社会の生活と文化	内容(1)-イ	6～11ページ	4
2 農耕社会の形成と大陸文化の摂取	内容(1)-イ	12～21ページ	5
3 律令国家の形成と古代文化の展開	内容(1)-イ	22～39ページ	8
4 撰閣政治と文化の和様化	内容(1)-ウ	40～51ページ	8
第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ		55～102ページ	22
1 中世社会の成立	内容(1)-ウ, 内容(2)-イ	56～63, 66～81ページ	10
歴史の解釈 武士と戦い	内容(2)-ア	64～65ページ	2
2 武家社会の形成と東アジア	内容(2)-ウ	82～99ページ	10
第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開		103～158ページ	28
1 ヨーロッパ文化との接触と国内統一	内容(3)-イ	104～111ページ	4
2 幕藩体制の成立	内容(3)-イ	112～127ページ	7
3 近世社会の発達と町人文化	内容(3)-イ, ウ	128～139ページ	7
4 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	内容(3)-ウ	140～147, 150～155ページ	8
歴史の説明 江戸幕府は「鎖国」をしていたか	内容(3)-ア	148～149ページ	2
第4章 近代国家の形成と国民文化の発展		159～236ページ	40
1 開国から明治維新へ	内容(4)-ア	160～179ページ	10
2 立憲政治の形成と国民文化	内容(4)-ア, イ, ウ	180～191ページ	7
3 日本の近代化と東アジア	内容(4)-イ, ウ	192～203ページ	7
4 デモクラシーと第一次世界大戦	内容(5)-ア, イ	204～215ページ	6
5 激動する世界と日本	内容(5)-ウ	216～233ページ	10
第5章 現代の世界と日本		237～277ページ	18
1 占領と国内改革	内容(6)-ア, イ	238～247ページ	4
2 国際社会への復帰と高度経済成長	内容(6)-ア, イ	248～259ページ	6
3 石油ショックと低成長の時代	内容(6)-ア, イ	260～267ページ	4
4 新しい国際秩序と日本の課題	内容(6)-ア, イ	268～274ページ	4
歴史の論述 道から探る地域の歴史	内容(6)-ウ	278～281ページ	4
		計	140